

花咲爺

石原和三郎 作詞
田村 虎蔵 作曲

愉快に (♩=120)

1. う ら の は た け で ポ チ が な り く て
2. いじ ら わ の る は たい さ だん ぽ ち が な り く て
3. しょう ら わ じる きる は じい さい じん ぽ う ち が な り っ て
4. いじ ら わ じる きる は じい さい じん ぽ う ち が な り っ て
5. しょう ら わ じる きる は じい さい じん ぽ う ち が な り っ て
6. いじ ら わ じる きる は じい さい じん ぽ う ち が な り っ て

ザガザガおつ クラクラく な ザガザガらが クラクラにれ ザガザガいま クラクラいた
ザガザガおつ クラクラく な ザガザガらが クラクラにれ ザガザガいま クラクラいた

花咲爺

石原和三郎 作詞

- 一、裏の畑で ポチが啼く
正直爺さん 堀ったれば、
大判小判が ザクザクザクザク。
- 二、意地悪爺さん ポチ借りて、
裏の畑を 堀ったれば、
瓦や瀬戸かけ、ガラガラガラガラ。
- 三、正直爺さん 白掘って、
それで餅を 搗いたれば、
又ぞろ小判が、ザクザクザクザク。
- 四、意地悪爺さん 白借りて、
それで餅を 搗いたれば、
又ぞろ瀬戸かけ、ガラガラ、ガラガラ。
- 五、正直爺さん 灰まけば、
花は咲いた 枯枝に、
褒美は沢山、お倉に一ぱい。
- 六、意地悪爺さん 灰まけば、
殿様の目に それが入り
とうとう牢屋に 繋がれました。

しょう そはの じられなさ きのではま じはもさの いたちいめ さけをたに ンをー ー ー ぽほつつかさ たたたえが っついいれれ ばばばにり

おかままと おわたたう ばらぞびと んやろはう こせこせたら ばとばとくう ー ー ー ー かんかさや がかげんに